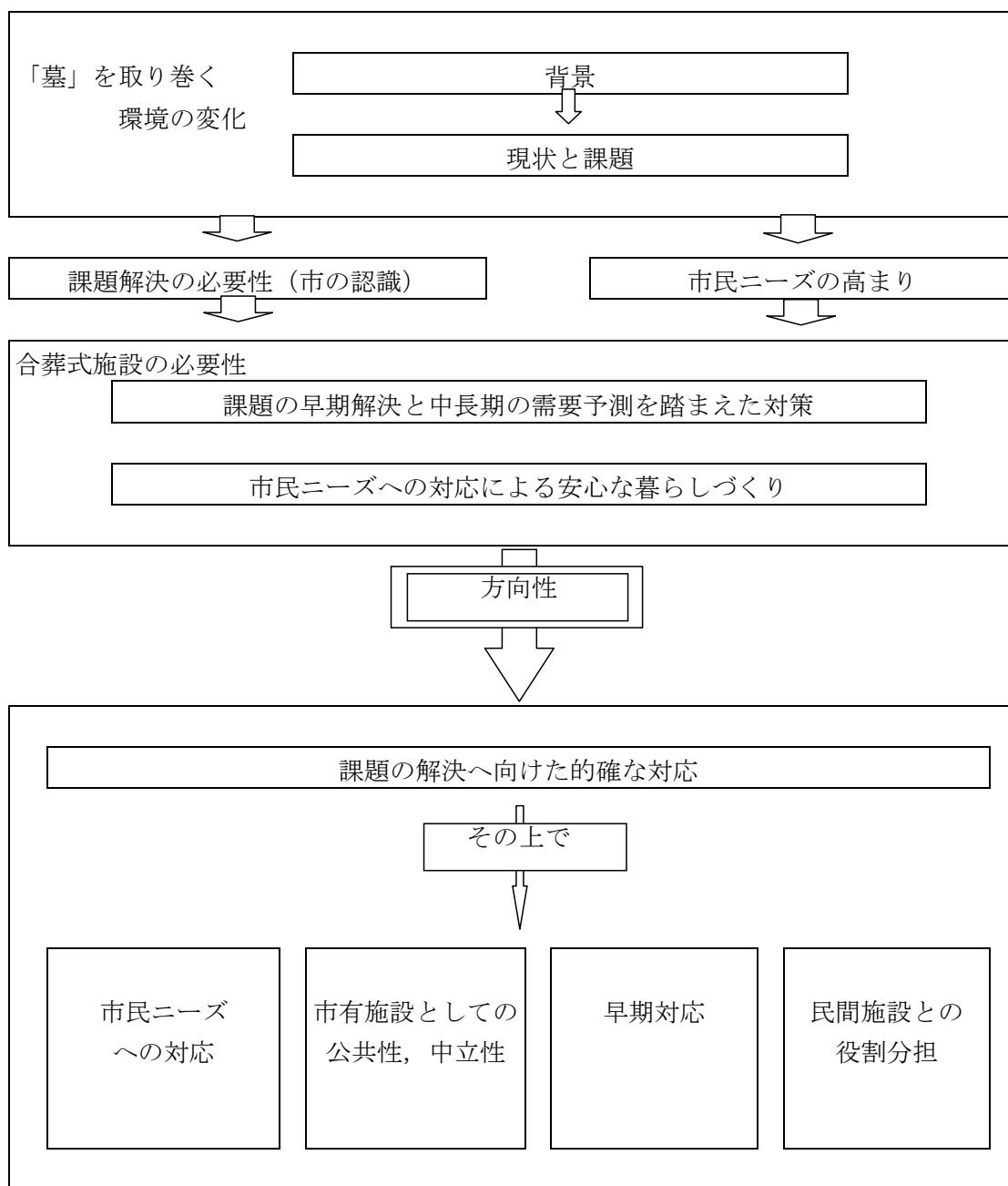


## 「共同利用できる合葬式施設整備の基本的考え方」

超高齢社会を迎える中で、「墓」を取り巻く環境が急速に変化し、新たな課題が生じてきた。

市として、こうした課題や市民ニーズの多様化等に対応した新たな施設（合葬式施設）を整備する必要があると認識している。



## 合葬式施設整備の必要性

### 1 現状と課題

- ・ 少子高齢化，核家族化等の進行により，墓の承継について不安を抱える市民が増えてきている。
- ・ 家ごとの墓にこだわらない共同利用の許容等，ライフスタイルの変化等とともに市民の価値観が多様化してきている。
- ・ 本市は医療・福祉施設の集積していること等により他都市から本市へ高齢者が流入し，高齢者が増加しているという状況が見受けられる。
- ・ 高齢化に伴い死亡者数が増加することによる墓の需要の増加への対策が求められる。
- ・ 市営墓地における（墓が承継されないことによる）無縁化への対応が急務である。

超高齢社会に関する課題に早急に対応するとともに，既存の市営墓地の効率的な活用や墓の適正管理を一層進める必要がある。

### 2 市民ニーズの高まり

合葬式施設の整備を望む市民ニーズが年々高まっている。

- ・ 市長への手紙や電話，窓口での相談において合葬式施設の整備に関する要望の件数が増加してきている。
- ・ 旭川消費者協会等関係団体との意見交換の場面において，合葬式施設の整備に対する要望が寄せられている。

課題の早期解決と中長期の需要予測を踏まえた対策及び市民ニーズへの対応による安心な暮らしづくりのために合葬式施設を整備する必要がある。

## 市が整備する合葬式施設の方向性

### 1 市民ニーズへの対応

墓の承継に不安等を抱える市民からの合葬式施設に対するニーズが高まる中で、そのニーズを十分精査し、対応することにより、市民の暮らしの安心に資する施設であること。

### 2 市有施設としての公共性・中立性

宗教的な中立等、市有施設としての公共性を踏まえた施設形態や機能、管理の在り方等を見極めながら“市営合葬墓”としてふさわしいものとする。

### 3 早期対応

超高齢社会による死亡者数の増加に伴う墓の需要の増加が見込まれる中で、その需要に応じていくためには、できる限り早期に対策を講じることとなる施設であること。

### 4 民間施設との役割の整理

多様化する墓地（墓）の需要に対し、既に大きく貢献してきた民間霊園との役割分担を踏まえ、市営合葬墓として担うべき役割を果たせる施設であること。

#### ○ 合葬式施設のイメージ

訪れる人たちが共通のイメージを持つことができ、多くの人から受け入れられ、合葬式施設であるということが明確に分かるもの。

## 設置場所及び施設形態

上記方向性を踏まえた施設とするための場所、施設形態については、機能面、デザイン面等から幅広く検討し、決定する。

#### ・ 整理、検討すべき事項

|     |  |
|-----|--|
| 機能面 | 需要予測に見合った施設規模<br>納骨方法に応じた施設機能（納骨方法の選択）<br>駐車場，トイレ等の利便施設<br>献花台，墓誌等の付帯設備<br>交通の便<br>その他市営施設として有すべき機能 など |
|-----|--|

|       |  |
|-------|--|
| デザイン面 | 市の施設としてふさわしい墓碑のデザイン<br>周辺環境との親和性，ロケーション<br>施設からの景観<br>ユニバーサルデザインへの配慮など |
|-------|--|

## 1 設置場所

- ・ 合葬式施設は、「旭川市墓地、埋葬等に関する法律施行条例」等に規定されている墓地等の施設となるため、それらの基準をクリアする場所を確保する。
- ・ 周囲の景観や利用者の利便性等を十分検討した上で、必要な規模の面積を確保する。

### 候補地の比較検討

| 設置場所  | メリット  | デメリット  |
|---|---|--|
| 市営墓地  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓埋法基準に対応</li> <li>・ 交通の便は比較的よい</li> <li>・ 地域主体のまちづくりとも連動した新しいタイプの合葬式施設を実現できる可能性がある</li> <li>・ 2号墓地の場合、旧管理人住宅の跡地を活用できる</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地の関係から規模が制限される（2号墓地以外は特に制限）</li> <li>・ 地域による管理運営を検討した場合、その合意や支援策、条件整備等に時間を要する</li> <li>・ ニーズとしての「本市の特色的要素を持つ合葬墓」の課題は残る</li> <li>・ 複数ある市営墓地への対応</li> </ul>  |
| 旭川聖苑  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓埋法基準に対応</li> <li>・ 周辺環境、見晴らし良好</li> <li>・ 聖苑との一体的管理が可能</li> <li>・ 聖苑の駐車場、トイレの利用可能</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便</li> <li>・ 聖苑利用者への影響（混雑等）</li> <li>・ 建設費が大きくなる</li> </ul>  |
| 新規確保<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心部</li> <li>・ 郊外</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便はよい</li> <li>・ 人が集まりやすい</li> </ul> </li> <li>○郊外 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い用地の確保の可能性</li> <li>・ 見晴らし良好の可能性</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○共通 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 墓埋法基準の検討</li> <li>・ 付近住民への説明</li> </ul> </li> <li>○中心部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地確保が困難</li> <li>・ 確保できる面積が小さい</li> </ul> </li> <li>○郊外 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便</li> </ul> </li> </ul> |

## 2 施設形態

- ・ 他都市の先進事例から見て、合葬式施設の形態としては、大きく二つのタイプに分けられる。
- ・ 市民ニーズや本市の特性等を勘案しながら、本市にふさわしい施設形態とする。

### タイプ別の比較検討

| 施設形状    | メリット   | デメリット   |
|---------|--|---|
| メモリアル施設 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中規模以上の施設が想定されるため、デザイン面で柔軟に対応しやすく、シンボル性やメッセージ性を発揮しやすい</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 施設機能やデザインに応じた規模の用地確保</li><li>・ 建設費が大きくなる（駅の彫刻参考：基金額1,430万円）</li></ul> |
| 納骨塚タイプ  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 建設費が比較的少なくて済む（小樽市参考：約670万円）</li><li>・ 小さい用地でも整備ができる</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ニーズとしての「本市の特色的要素を持つ合葬墓」の課題に対応しづらい</li></ul>                           |

### 施設管理の方法

施設の管理については、他都市の事例等から直営管理、指定管理その他業務委託等が考えられるが、設置場所や施設形態を踏まえた方法とする。

- ・ 整理、検討すべき事項
  - 設置場所及び施設形態等に応じた管理運営料金体系
  - ランニングコスト など